
平成26年3月期 第2四半期 決算説明会資料

平成25年12月13日
永大産業株式会社



EIDAI

1. 会社概要

会社概要

社 名：永大産業株式会社 (Eidai Co., Ltd.)

代 表 者：代表取締役社長 大道 正人

本 社：大阪市住之江区

設 立：昭和21年7月29日

資 本 金：32億8530万円

事業内容：住宅資材及び木質ボードの製造・販売

従 業 員：連結 1, 201名 単体 961名

会社概要

■ 連結子会社

永大小名浜株式会社(福島県いわき市)

・パーティクルボードの製造・販売及び室内ドア等の製造
Eidai Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム国ハナム省)

・フローリングの製造

■ 非連結子会社

永大スタッフサービス株式会社(大阪市住之江区)

・人材派遣、人材紹介

永大テクノサポート株式会社(大阪市住之江区)

・請負業

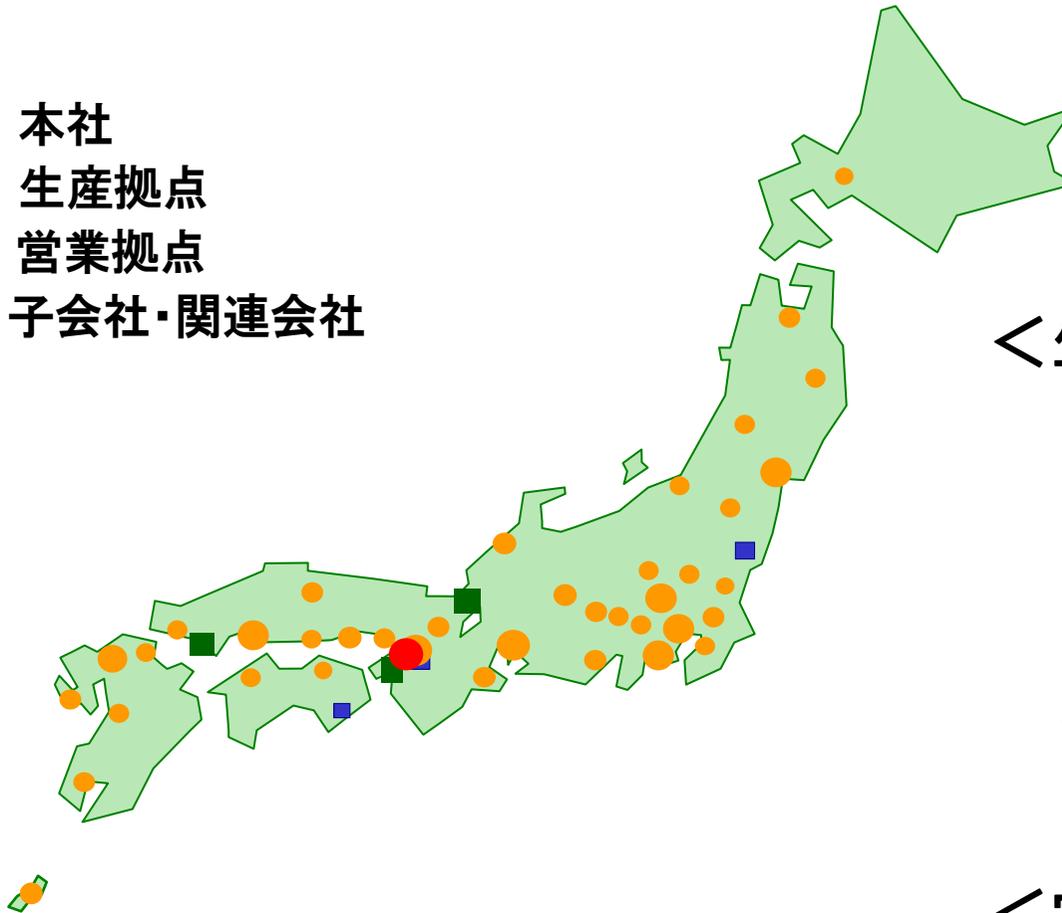
■ 持分法適用関連会社

エヌ・アンド・イー株式会社(徳島県小松島市)

・MDFの製造

会社概要

- 本社
- 生産拠点
- 営業拠点
- 子会社・関連会社



<生産拠点>

山口・平生事業所

敦賀事業所

大阪事業所

永大小名浜株式会社

Eidai Vietnam Co.,Ltd.

<営業拠点>

全国41箇所

事業セグメント・分野

セグメント	分野	主な製品	拠点
住宅資材事業	建材分野	フローリング 室内階段	山口・平生事業所 敦賀事業所 Eidai Vietnam Co.,Ltd. 永大小名浜株式会社
	内装システム分野	室内ドア、造作材、カウンター システム収納、シューズボックス その他内装部材	大阪事業所 永大小名浜株式会社
	住設分野	システムキッチン 洗面台 システムバス	大阪事業所
木質ボード事業	パーティクルボード分野	素材パーティクルボード 化粧パーティクルボード MDF(中質繊維板)	山口・平生事業所 敦賀事業所 永大小名浜株式会社 エヌ・アンド・イー株式会社
その他事業	環境事業(アスベスト処理事業) 不動産有効活用事業(賃貸マンション)		

事業内容

■住宅資材事業

建材分野

フローリング・室内階段

当社の基幹事業であり、業界トップシェアグループ

- ・ 基材に国産材を使用し、木材利用ポイント制度の登録製品である「日本の森活性化フローリング 里床(ツキ板)」
- ・ 天然ムクの素材を最大限に活かした「プレミアムク」
- ・ 当社独自の「3Dメイク」塗装により、木目を一層際立たせた「フィールグレインフロア」



＜複合フローリング 市場シェア＞

平成24年度		
順位	会社名	市場占有率 %
1	大建工業(株)	25.9
2	永大産業(株)	19.2
3	朝日ウッドテック(株)	15.8
4	パナソニック(株)ES社	13.4
5	(株)ノダ	8.2
6	(株)ウッドワン	7.9
	その他	9.5
	合計	100.0

引用:「2013年版住宅産業白書」(株式会社矢野経済研究所発行)

事業内容

内装システム分野

室内ドア・システム収納・シューズボックス

当社の重点分野であり、業界シェアは常に上位グループ

- ・ 美しさとコストパフォーマンスに優れ、独自の鏡面ファッションの創出を目指す「アルティモード」
- ・ シンプルで美しく、ディテールにこだわったデザインの「アーバンモードα」



<室内ドア 市場シェア>

平成24年度		
順位	会社名	市場占有率 %
1	パナソニック(株)ES社	5.8
2	大建工業(株)	5.2
3	永大産業(株)	3.8
4	(株)ウッドワン	3.7
5	(株)ハウテック	2.6
6	(株)ノダ	2.1
	その他	76.8
	合計	100.0

引用:「2013年版住宅産業白書」(株式会社矢野経済研究所発行)

事業内容

住 設 分 野

システムキッチン

ステンレス加工からキャビネットの組立まで一貫生産が可能

- ・システムキッチン「ラフィーナ エアプラス」の基材にホルムアルデヒドを極限まで抑制したパーティクルボード「リラックス」を採用し、空気環境に配慮
- ・臭いを吸収する布地化粧パネル「エアブリーズ」の採用により、衛生面をさらに向上
- ・大手ハウスメーカーのOEM対応



<システムキッチン 市場シェア>

平成24年度		
順位	会社名	市場占有率 %
1	(株)LIXIL(サンウエーブ工業、トステム、INAX)	25.5
2	クリナップ(株)	21.9
3	タカラスタANDARD(株)	21.3
4	パナソニック(株)ES社	12.9
5	ヤマハリビングテック(株)	5.5
6	TOTO(株)	5.0
7	永大産業(株)	2.3
	その他	5.6
	合計	100.0

引用:「2013年版住宅産業白書」(株式会社矢野経済研究所発行)

事業内容

■ 木質ボード事業

パーティクルボード分野

パーティクルボード

多品種小ロットの需要に対しても短納期で供給可能な生産体制

- ・ホルムアルデヒド放散量を極限まで抑制し、空気環境に配慮したパーティクルボード「リラックス」

⇒ 文教施設や医療施設へ提案

- ・市場シェアは約20%



事業内容

■ その他事業

環境事業(アスベスト処理事業)

- ・ アスベスト処理工事(除去・封じ込め)
- ・ アスベスト濃度測定
- ・ アスベスト処理薬剤の販売

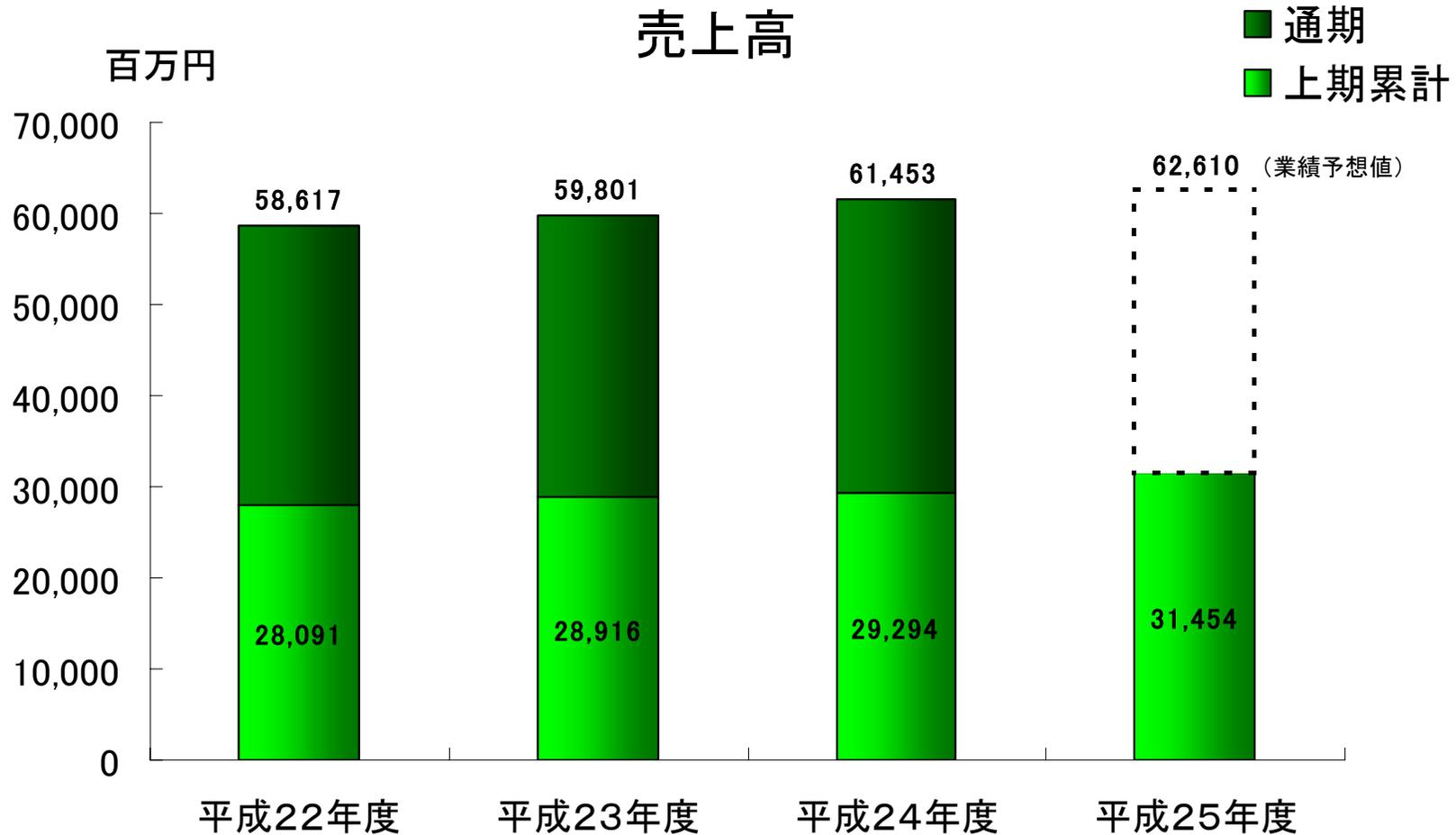


不動産有効活用事業(賃貸マンション)

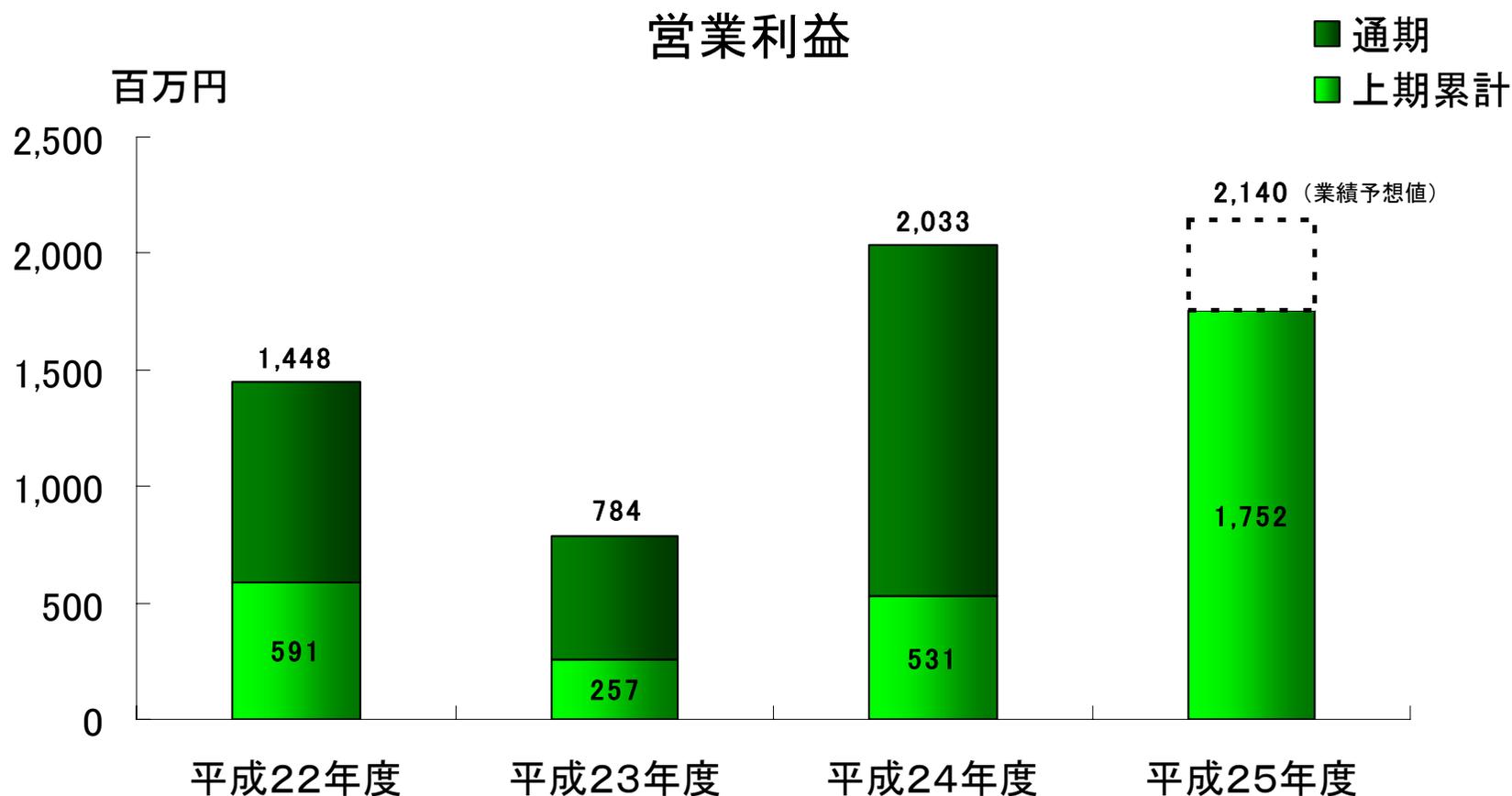
- ・ 賃貸マンションをはじめとする
所有不動産の有効活用



平成25年度上期 連結業績



平成25年度上期 連結業績



配当に関する基本的な考え方

[1株当りの年間配当金]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 予想
中間	—	—	—	—
期末	10.00	12.00	10.00	10.00
合計	10.00	12.00	10.00	10.00

(注)平成23年度期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当2円00銭

トピックス

■ Eidai Vietnam Co.,Ltd.への設備投資

- ・ムクフロア、シートフロアの生産が安定稼動へ
- ・次年度の新製品である「挽き板フロア」の設備導入を計画

■ 環境への取組

- ・国産材の利用拡大 ～ 「里床(ツキ板)」の発売 ～
 - ⇒ 林野庁が推進する木材利用ポイント制度の登録製品
- ・マテリアルリサイクルの推進
 - ⇒ 不用になった木質製品でパーティクルボードを生産
- ・アスベスト処理事業の展開
 - ⇒ 環境改善に貢献

当社の強みとリスク

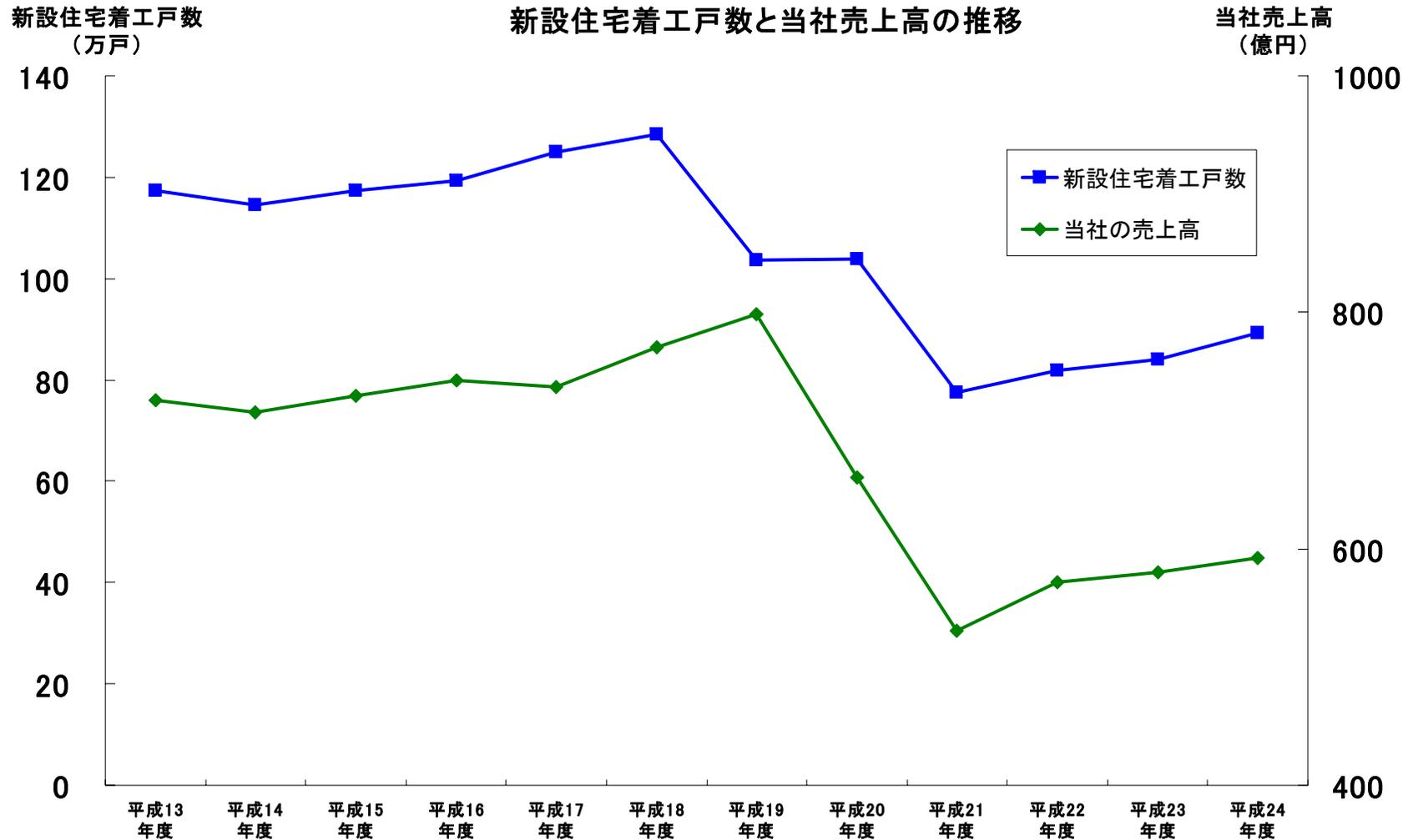
■ 当社の強み

- 木質加工技術とステンレス加工技術
- 柔軟な生産体制の構築
- 強固な財務体質

■ 当社のリスク

- 新設住宅着工戸数の減少(特に持家)
- 為替相場の変動による原材料価格の高騰

新設住宅着工戸数と当社売上高



事業環境

■ 人口の推移

■ 将来推計人口及び年齢構造(2012年1月推計:国立社会保障・人口問題研究所)

	平成22年		平成27年		平成32年		平成47年(参考)	
	人口 (万人)	割合 (%)	人口 (万人)	割合 (%)	人口 (万人)	割合 (%)	人口 (万人)	割合 (%)
出生人口	107	0.8	95	0.8	84	0.7	71	0.6
15歳未満	1,684	13.1	1,583	12.5	1,457	11.7	1,129	10.1
15～64歳	8,173	63.8	7,682	60.7	7,341	59.2	6,343	56.6
65歳以上	2,948	23.0	3,395	26.8	3,612	29.1	3,741	33.4
総人口	12,806	100.0	12,660	100.0	12,410	100.0	11,212	100.0

事業環境

■ 世帯数の推移

■ 家族類型別一般世帯数の将来推計(2013年1月推計:国立社会保障・人口問題研究所)

		平成22年		平成27年		平成32年		平成47年(参考)	
		世帯数 (千)	割合 (%)	世帯数 (千)	割合 (%)	世帯数 (千)	割合 (%)	世帯数 (千)	割合 (%)
核家族 世帯	夫婦のみ	10,244	19.8	10,861	20.5	11,037	20.8	10,500	21.2
	夫婦と子の世帯	14,440	27.9	14,274	27.0	13,814	26.0	11,532	23.3
	ひとり親と子	4,523	8.7	4,982	9.4	5,338	10.1	5,645	11.4
	小計	29,207	56.5	30,116	56.9	30,189	56.9	27,678	55.9
単独世帯		16,785	32.4	17,637	33.3	18,270	34.4	18,457	37.2
その他		5,765	11.1	5,150	9.7	4,594	8.7	3,421	6.9
合計		51,842	100.0	52,904	100.0	53,053	100.0	49,555	100.0
世帯主が65歳以上		16,200	31.2	18,887	35.7	20,060	37.8	20,215	40.8

成長戦略

新設住宅着工戸数の減少、少子高齢化の更なる進行

⇒ 厳しい環境を乗り越える収益基盤の強化

- ① 既存事業のシェア拡大と利益最大化
- ② 利益拡大に向けた積極的な投資
- ③ 新規市場の開拓
- ④ 新規事業への参入

成長戦略

①既存事業のシェア拡大と利益最大化

■各事業の損益分岐点引き下げ

シェア拡大、固定費削減及び労務費の変動費化

■差別化できる新製品の開発

独自技術を活かした高付加価値製品の開発

■コスト低減

生産性向上、仕様見直し等、徹底したコスト低減

■邸別一括受注の拡大

各分野の製品を一邸で全て採用 ⇒ 邸別一括受注の拡大

成長戦略

■ シニアマーケットへの販売強化

シニアマーケット向け製品群「セーフケアプラス」

- ・転倒時の衝撃を吸収するフローリング
「セーフケアダイレクト」
- ・車椅子でも出入りしやすい「セーフケアプラス 吊り戸」
「セーフケアプラス 吊り戸」
- ・椅子に座ったまま調理ができる
「セーフケアプラス キッチン」
- ・介護者の動作に配慮した
「セーフケアプラス 洗面」

さらに「サービス付き高齢者住宅・シニア施設向け製品」を発売

⇒ 一般住宅からシニア施設に至るまで対応可能

成長戦略

■ストック需要への対応

- ・ストック需要に対応する組織として営業開発部を新設
- ・キッチンをはじめとする水廻り製品の強化
- ・リフォーム需要に対応する短納期製品の拡充

⇒ 中古住宅流通市場、DIYなどへの販売チャネル拡大

成長戦略

②利益拡大に向けた積極的な投資

■新製品開発

- ・成長分野への投資
- ・効率的な生産を実現する生産設備、ソフトへの投資

⇒ Eidai Vietnam Co.,Ltd.に対しても積極的に投資

■コスト競争力

- ・生産性向上、省人化を目的とする生産設備への投資
- ・原材料のコスト低減を目的とする研究開発への投資

⇒ 変動費、固定費の徹底的な低減を目指す

成長戦略

③新規市場の開拓

■海外での販売

- ・平成27年のASEAN統合によりアジア最大級の経済圏
- ・想定人口6億4000万人の地域が著しい経済発展

⇒ Eidai Vietnam Co.,Ltd.の地理的優位性を活かす

来春より本格的なマーケティングを開始予定

成長戦略

④新規事業への参入

■環境事業(アスベスト処理事業)

環境改善に貢献する事業 ⇒ 事業拡大を目指す

- ・7月に環境事業室を発足
- ・アスベスト診断、測定、分析
 - 封じ込め工事
 - 除去工事
 - 処理薬剤の販売
- ・8兆円の市場規模(環境省の試算より)

2. 平成25年度上期 決算概要

連結損益計算書

(百万円)

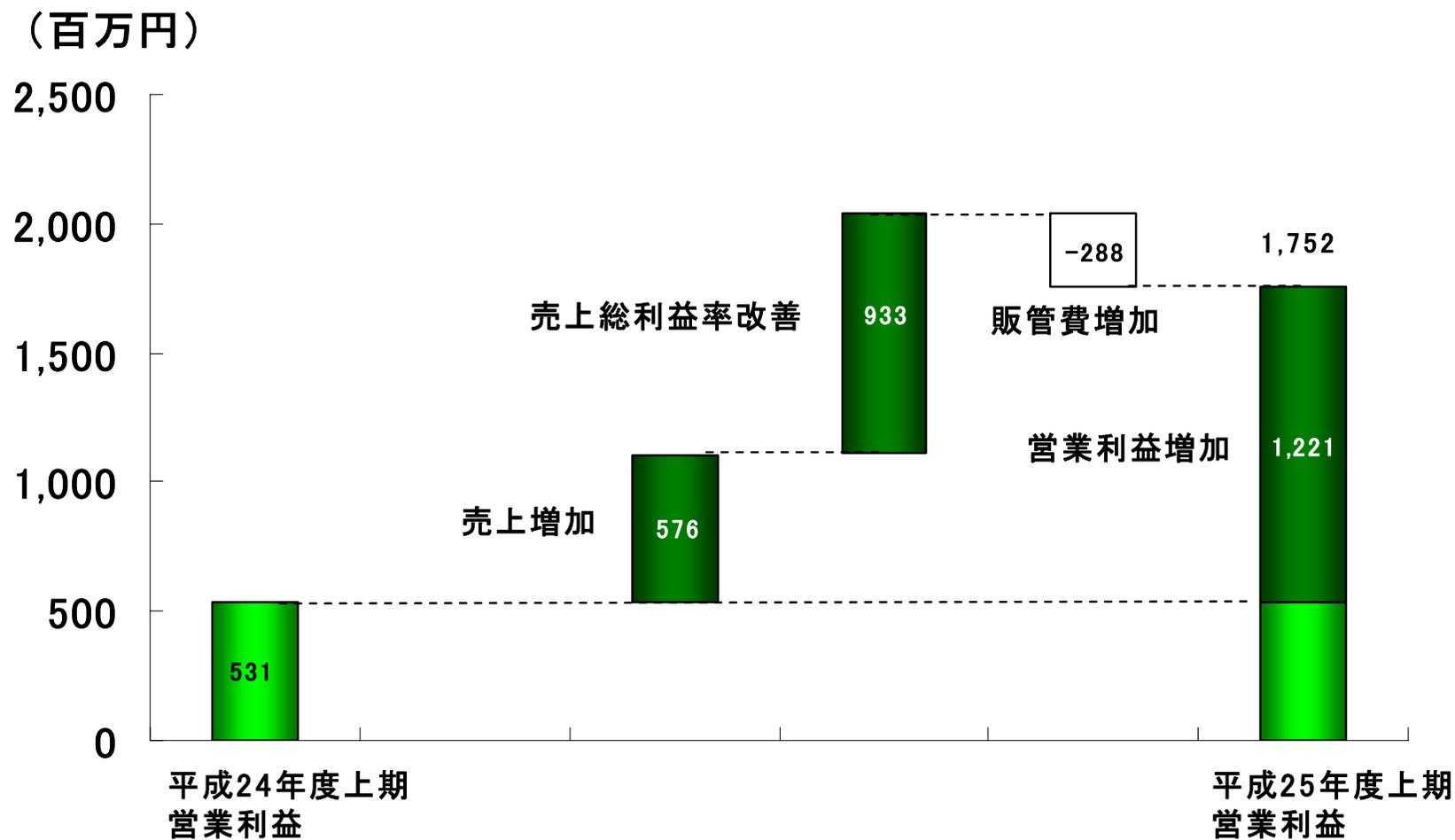
	平成24年度 上期	平成25年度 上期	増減	
			金額	前期比
売上高	29,294	31,454	2,159	7.4%
売上総利益	6,891	8,401	1,510	21.9%
(売上総利益率)	23.5%	26.7%	—	3.2ポイント
販管費	6,360	6,649	288	4.5%
(販管费率)	21.7%	21.1%	—	△0.6ポイント
営業利益	531	1,752	1,221	229.9%
(営業利益率)	1.8%	5.6%	—	3.8ポイント
経常利益	641	1,885	1,244	194.0%
(経常利益率)	2.2%	6.0%	—	3.8ポイント
当期純利益	399	1,140	741	185.7%
1株当り当期純利益	8円69銭	24円82銭	16円13銭	185.6%

連結セグメント別・分野別売上高

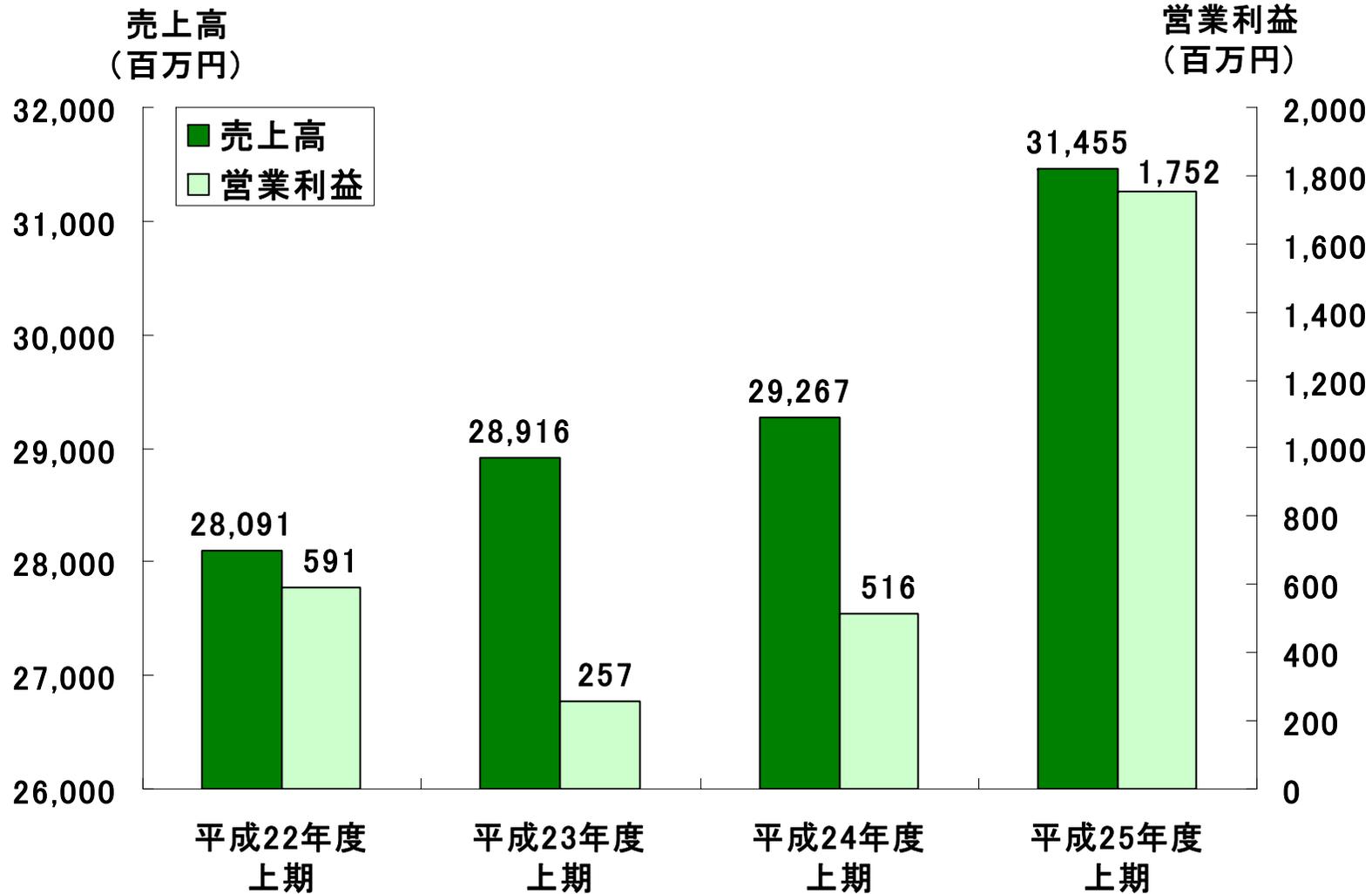
(百万円)

	平成24年度上期		平成25年度上期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	前期比
建材	12,356	42%	12,992	41%	636	5.2%
内装システム	10,098	35%	11,485	37%	1,386	13.7%
住設	3,099	11%	3,134	10%	35	1.2%
(住宅資材事業 計)	25,554	87%	27,613	88%	2,058	8.1%
パーティクルボード	3,713	13%	3,802	12%	88	2.4%
(木質ボード事業 計)	3,713	13%	3,802	12%	88	2.4%
(その他事業)	27	0%	39	0%	11	43.5%
合計	29,294	100%	31,454	100%	2,159	7.4%

営業利益増加の要因分析(連結)



売上高・営業利益の推移



P B R ・ P E R

	平成22年度 上期	平成23年度 上期	平成24年度 上期	平成25年度 上期
発行済み株式総数(千株) (うち自己株(千株))	46,783 833	46,783 836	46,783 836	46,783 836
1株当たり純資産	817円77銭	841円49銭	851円73銭	916円78銭
1株当たり当期純利益	9円88銭	4円69銭	8円69銭	24円82銭
9月末日株価	225円	242円	351円	507円
PBR (東証1部平均)	0.28 0.8	0.29 0.8	0.41 0.7	0.55 1.1
PER (東証1部平均)	22.8 31.5	51.6 15.7	40.4 16.4	20.4 21.8

平成25年度 連結業績予想

(百万円)

	平成24年度 通期実績	平成25年度 上期	平成25年度 通期予想	増減	
				金額	前期比
売上高	61,453	31,454	62,610	1,156	1.9%
営業利益	2,033	1,752	2,140	106	5.3%
経常利益	2,363	1,885	2,370	6	0.3%
当期純利益	1,674	1,140	1,430	△ 244	△ 14.6%

3. 参考資料

平成25年度の新設住宅着工戸数の推移

単位：戸

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		4-10月累計	
	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)												
持家	28,357	117.5	28,902	113.5	30,699	113.8	31,475	111.1	31,379	111.2	32,128	114.2	33,967	117.6	216,907	114.1
貸家	27,842	107.8	26,614	111.6	30,504	113.1	31,012	119.4	29,548	107.0	31,892	121.5	35,059	103.3	212,471	111.6
分譲戸建	10,559	115.4	10,881	110.1	11,651	109.4	11,305	108.4	11,983	111.3	11,396	112.4	11,766	110.4	79,541	111.0
マンション	10,718	78.0	12,893	133.1	10,274	146.0	10,320	100.6	10,929	106.0	12,497	135.6	8,509	82.3	76,140	108.4
合計	77,894	105.8	79,751	114.5	83,704	115.3	84,801	112.0	84,343	108.8	88,539	119.4	90,226	107.1	589,258	111.8

引用：住宅着工統計（国土交通省）

平成25年度の新設住宅着工戸数の予測

平成24年度実績: 89.3万戸

単位: 万戸

	平成25年度
みずほ総合研究所	97.8
日本経済研究センター	97.1
三菱UFJ R&C	96.9
三菱総合研究所	95.1
建設経済研究所	92.7

輸入フロア台板価格・為替推移

	平成22年度	平成23年度		平成24年度		平成25年度						
	下期	上期	下期	上期	下期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
産地価格 C&F US\$/m3	650~755	820~850	680~785	660~660	660~670	680	680	680	680	680	680	680
国内価格 メーカー着 円/枚	1,280~1,300	1,375~1,530	1,320~1,450	1,240~1,300	1,220~1,300	1,350	1,400	1,450	1,540	1,560	1,560	1,560
US\$直物 円相場 中心	81.79~83.41	76.84~83.35	76.77~82.43	78.17~81.49	78.97~94.75	97.71	101.08	97.43	99.71	97.87	99.24	97.85
船運賃 バルク船 US\$/m3	43.0~48.5	48.5~48.5	49.5~50.5	50.5~50.5	50.5~51.5	51.5	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0

引用: 木材建材ウイクリー/日刊木材新聞社発行

大手ハウスメーカーの受注状況

	前年比(%)						
	平成25年4月	平成25年5月	平成25年6月	平成25年7月	平成25年8月	平成25年9月	4-9月累計
積水ハウス	121%	108%	119%	118%	115%	167%	122%
旭化成ホームズ	116%	107%	108%	105%	124%	148%	120%
三井ホーム	169%	119%	120%	124%	132%	169%	139%
住友林業	126%	111%	124%	132%	133%	165%	135%
大和ハウス	126%	122%	118%	121%	120%	130%	123%

	平成25年10月
積水ハウス	97%
旭化成ホームズ	68%
三井ホーム	100%
住友林業	70%
大和ハウス	128%

引用: 各社ホームページ掲載の受注情報

見通しに関する注意事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

以上